

「石川県の人口と世帯」推計結果の要約

令和6年12月1日現在(推計)

行政経営課統計情報室
人口労働グループ 太田、辨谷
内線 3756 外線 225-1344

令和6年11月中(11月1日から11月30日まで)の自然動態及び社会動態により推計した人口と世帯について、結果を要約すると次のとおりである。

・人口・・・1,097,539人
男性 533,449人 女性 564,090人
前月比 782人 (0.07%)の減少
・世帯数・・・475,249世帯
前月比 213世帯 (0.04%)の減少

1 人口

前年同月比 11,253人(1.01%)減少

県人口・・・1,097,539人

- ・男性 533,449人 女性 564,090人
- ・前月比 782人(0.07%)の減少

2 人口増減の要因

前月比 自然増減・・・△605人、社会増減・・・△177人

- ・自然動態・・・出生者数 499人、死亡者数 1,104人で、605人の減少
[増加した市町・・・野々市市(15人)]
[減少の多かった市町・・・金沢市(△206人)、七尾市(△62人)、小松市(△51人)]
 - ・社会動態・・・転入者数 2,390人、転出者数 2,567人で、177人の減少
[増加の多かった市町・・・白山市(75人)、かほく市(59人)、津幡町(52人)]
[減少の多かった市町・・・金沢市(△109人)、輪島市(△59人)、能登町(△47人)]
- ※① 自然動態・・・自然増減(出生者数から死亡者数を差し引いたもの)の状況
② 社会動態・・・社会増減(転入者数から転出者数を差し引いたもの)の状況

3 市町別人口

前月比 4市2町で人口増加、7市6町で人口減少

・4市2町で増加

増加したのは、津幡町(55人)、野々市市(51人)、かほく市(47人)等の4市2町である。

このうち、先月に引き続き増加しているのは、かほく市、白山市、能美市、野々市市、津幡町である。

[増加率の大きい市町：津幡町(0.15%)、川北町(0.13%)、かほく市(0.13%)]

・ 7市6町で減少

減少したのは、金沢市（△315人）、輪島市（△104人）、七尾市・小松市（△96人）等の7市6町である。

このうち、先月に引き続き減少しているのは、七尾市、小松市、輪島市等である。

[減少率の大きい市町：珠洲市（△0.54%）、能登町（△0.52%）、輪島市（△0.52%）]

4 世帯数

前月比 213世帯(0.04%)減少

県世帯数・・・475,249世帯

・ 前月比 213世帯(0.04%)の減少

・ 1世帯当たり人員 2.31人(前月と変化なし)

5 地域別人口

(令和6年12月1日現在)

地域	人口	構成比	対前月比		対前年同月比	
			増減数	増減率	増減数	増減率
総数	人 1,097,539	% 100.0	人 △ 782	% △ 0.07	人 △ 11,253	% △ 1.01
南加賀	217,709	19.8	△ 139	△ 0.06	△ 1,566	△ 0.71
石川中央	721,325	65.7	△ 170	△ 0.02	△ 1,935	△ 0.27
羽咋郡市	46,711	4.3	△ 95	△ 0.20	△ 1,146	△ 2.39
七尾鹿島	60,990	5.6	△ 125	△ 0.20	△ 2,027	△ 3.22
奥能登	50,804	4.6	△ 253	△ 0.50	△ 4,579	△ 8.27

南加賀：小松市、加賀市、能美市、能美郡

石川中央：金沢市、かほく市、白山市、野々市市、河北郡

羽咋郡市：羽咋市、羽咋郡

七尾鹿島：七尾市、鹿島郡

奥能登：輪島市、珠洲市、鳳珠郡

市町別人口の順位 (令和6年12月1日現在)

順位	市町名	人口(人)	順位	市町名	人口(人)
1	金沢市	455,561	⋮		
2	白山市	109,347	15	能登町	13,474
3	小松市	103,922	16	宝達志水町	11,133
4	加賀市	59,463	17	珠洲市	10,598
5	野々市市	58,362	18	穴水町	6,894
⋮			19	川北町	6,009

この公表内容は、下記の石川県統計情報室ホームページでご覧いただけます。

「いしかわ統計指標ランド」 <https://toukei.pref.ishikawa.lg.jp/>